

遊!!すぽーつ

第 16 号

平成 15 年 1 月 1 日
発行

神戸市体育指導委員協議会
神戸市教育委員会

21st Century

特報

ごうどスポーツクラブ設立へ

ごうど S C 設立総会は 2 月 22 日(土)に開催
4 月 1 日のクラブ発足に向け、規約・入会方法等が決定!!

あけましておめでとうございます。

いよいよ今年は、「ごうどスポーツクラブ」(総合型地域スポーツクラブ)が発足します。

さまざまな可能性をもった「ごうどスポーツクラブ」は、一人でも多くの方が会員になっていただくことで、神戸市の明るい未来を実現していきます。そこで、今回は「ごうどスポーツクラブ」への入会について、初年度の割引制度も含めてお知らせしたいと思います。



ごうどスポーツクラブ

ごうどスポーツクラブのロゴマーク

◎ クラブ会員になるには?

1. 会員募集の時期

2 月 22 日に設立総会が催され、その後入会申込みの受付が行われます。2003 年度の申込み場所は神戸市教育委員会他です。会員登録された方全員に、会員カードが発行されます。

詳しくは、入会用パンフレット等をごらんください。

2. 入会にかかる費用

右の表をごらんください。2003 年度は、文部科学省の指定を受けていることもあり、入会金を無料、年会費を半額でスタートします。お得な「ファミリー入会特典」の制度も、積極的にご利用ください。なお、2 年目以降継続で登録される場合は、入会金は不要です。

また、毎年 10 月 1 日以降に新規登録される場合は、年会費のみ半額になります。

3. ビジターパスとは?

町内在住・在勤者以外で、交流等のために町内のスポーツ施設を定期的に利用している方のための制度です。施設等の利用制限があり、会員として他の特典を受けることはできません。会員としての特典を受けるためには、一般会員として登録してください。

ごうどスポーツクラブへの入会費用は?

【2003 年度】

分 類	入会金	年会費	保険料
乳 幼 児	無 料	無 料	450 円
小 学 生 ・ 中 学 生	無 料	1,500 円	450 円
一 般 (高 校 生 以 上)	無 料	1,500 円	1,400 円
高 齢 者 (60 歳 以 上)	無 料	1,500 円	800 円
身 障 者 手 帳 保 有 の 方	無 料	750 円	上記に準ずる
☆ ビジターパス	無 料	500 円	

☆ ファミリー入会特典……同一世帯の家族は、何人でも年会費総額 5,000 円で入会できます。

【2004 年度以降】

分 類	入会金	年会費	保険料
乳 幼 児	1,000 円	無 料	450 円
小 学 生 ・ 中 学 生	1,000 円	2,000 円	450 円
一 般 (高 校 生 以 上)	1,000 円	3,000 円	1,400 円
高 齢 者 (60 歳 以 上)	1,000 円	3,000 円	800 円
身 障 者 手 帳 保 有 の 方	1,000 円	1,500 円	上記に準ずる
☆ ビジターパス	1,000 円	1,000 円	

☆ ファミリー入会特典……同一世帯の家族は、何人でも年会費総額 10,000 円で入会できます。

◎ クラブ会員になると?

クラブ会員は、現在及び将来の神戸市のスポーツ環境を共に支えていくことに賛同の意を示した方ということになります。

それに伴って、町内の施設の利用や、「ごうどスポーツクラブ」が開催する各種スポーツ教室・イベント等への参加について会員特典をうけることができます。

また、町内外の多数の民間スポーツ施設(ボウリング場等)や店等が「ごうどスポーツクラブ」への協力を申し出ていますので、会員カードを提示することで、料金割引などの様々な特典を受けることもできることとなります。詳しくは、入会用パンフレット等でご確認ください。

スポレクフェスティバル2002

10月6日に、盛大に開催



10月6日（日）、神戸市スポレクフェスティバルが総合体育館・神戸中学校グラウンド・町民体育館・町民グラウンド・バターゴルフ場の5会場で開催されました。

今回、初めて受益者負担（参加費を出して）としたので少ないのでは…と、心配をしていたのですが、スポーツ少年団、中学校、体育協会のみなさんの協力により、のべ約1,000名の参加があり、大変盛大に行うことができました。



◎総合体育館会場◎

2階競技場での開会式の後、準備運動を兼ねてロックソーランを行いました。小・中学生の参加者は少し照れながらも体を動かしていました。また、お母さん方や学生の中にも、興味を持って楽しそうに踊っている人を見受けられました。

私たちは総合体育館2階競技場のソフトバレーボール・キンボール・カローリングの3種目を担当しました。最初、参加チームが少なかったためソフトバレーとカローリングをしてもらいましたが、20分ほどすると中学生がたくさん来てくれて、忙しくなりました。ソフトバレーは、大人と中学生、中学生同士の組み合わせで試合ができるようになり徐々に熱が入り、大きな声が出るようになりました。

カローリングは初めて体験する人ばかりでなかなかうまくいきませんでしたが、回数を重ねるにつれ、ゾーンの中に止まるようになり、おもしろさが分かってきたようでした。



キンボールもカローリングと同じく初めて体験する人ばかりでした。最初は大人と中学生とでゲームをしていたのですが、そのうち中学生が多くなり、自分たちでチームを作って申し込んでくるようになりました。なるべくたくさんの人に体験してもらおうと、時間を短くして行いましたが、最後は体験できない人が出るくらいになりました。体験者に聞いてみると、大人から子どもまでみなゲームをしだすと一生懸命になってしまう、楽しい、「はまる…」と大好評でした。

（河瀬）



◎バターゴルフ会場◎

交流大会運営のため、早朝からお手伝いいただいたスポレク協会グラウンドゴルフ部会のみなさんには、感謝の気持ちで一杯でした。参加者のほとんどが協会員でしたが、一般参加されたご夫婦が大変楽しそうにされていたのが印象に残っています。競技の進行は、事前打ち合わせをしておいたため、問題なくスムーズに行えた事は大変良かったと思います。

（堤）



今後の課題としては、一般の参加者を増やすためのPR方法を工夫することと、町内各種団体行事との調整を行うことなどが考えられます。来年への参考にしていきます。

『ごうどスポーツクラブ』関連スポーツ教室・小中一貫指導事業開催中！

◎親子ふれあいスポーツ教室◎

月に2回のペースで開催し、親子共々心地よい汗を流しています。この教室は、手軽にできるレクリエーションスポーツの種目を開設種目として、こどもからおとなまで自分たちのペースで楽しみ、いつも笑い声が絶えません。

内容は、一教室に複数の種目を設け、ベタンク・カラーリング・スカイクロスといった種目から、初めて見る種目までバラエティーにとんだ教室で、お手伝いをさせていただいている私たちでさえ時間を忘れてしまうほど、参加者すべてが各種目に熱中しています。こんなに心から楽しむことを満喫している親子の姿をまのあたりにするのは、私たち社会体育の一端を担うものにとって、非常に励みになります。

今後も「気軽にスポーツを」モットーに、チャンピオンスポーツだけでなく、心と体に留意して地域に適合したプログラム作りとスポーツを見つけ出しに行きたいと思っています。(松岡)

◀参加者の感想▶

「親子ふれあいスポーツ教室」に参加して1年半になりました。当初はどんなスポーツをするのか理解しないまま、我が家は小学1年、幼稚園年少の二人の子どもと母親と共に私を含めて4名で参加しています。

行われる「スポーツ」とは、様々なレクリエーション用具や器具を利用して、学齢時前の幼児でも対応可能な「ゲーム形式の軽スポーツ」でした。3月(4期間)まで継続することを予定している、この「家族ふれあい体操」(私の呼称)は、指導される先生や体育指導委員の方々が小さな幼児たちに対しても、参加しやすいようにまた、嫌にならないように工夫し、声をかけるなどの配慮をいただいています。子どもたちが教室のある日を心待ちにして、「今日はここが上手にできた」また「ここを褒めてもらった」など親子でふれあった後も、家庭で「ふれあえる」ということも楽しい親子関係の手段となっています。

来年度以降は、下の子どもが小学校に入学すると参加希望をし、ぜひ家族ともども楽しい時間を過ごしたいと思っています。(北一色・武田直也さん)

今年から子どもが小学生になり、学校週5日制も始まり、休日のあり方が問われるなか、学校から親子ふれあいスポーツ教室のお知らせをいただきました。地域の人々との交流ができるという点と全学年だと何かとひらきがあると思いますが、



1・2年対象ということで安心できるという点、それに月2回程度で参加しやすいという点で申し込んで参加させていただきました。

まず最初に感じたことは、「スポーツです」と堅苦しくなく、どちらかといえば遊びの延長で、身近な材料から手軽に作れるもので遊びや、今までにやったことのない遊び、身体を使っている遊び…など、本当に楽しく参加させてもらっています。子どもも休み前になると「明日は親子スポーツ？」と、楽しみにしているみたいです。お父さんと一緒にいるのも嬉しいみたいです。今年もきっと楽しく親子スポーツに参加している姿が目に見えます。

(東方・清王紀子さん)

◎小中一貫指導◎

今年度から「ごうどスポーツクラブ」の一つの柱である「小中一貫指導」が始まりました。この事業は、スポーツ少年団と中学校部活動の同一種目について、中学校部活動顧問と少年団指導者が連携を取り、長期的視野に立った指導・異年齢集団の交流を目的に行われています。(サッカー・バレーボール・剣道・バドミントン・バスケットボール・ソフトテニスの種目で実施中。他の種目も今後実施予定。)

◀参加者の感想▶【剣道少年団/中学校剣道部】

中学生の人たちと一緒に練習して、やっぱり強くすごいなあと思いました。僕ももっと練習して強くなりたいです。(剣道少年団6年・石崎啓太くん)

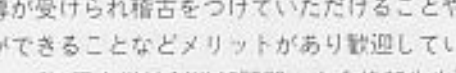
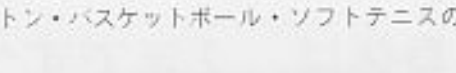
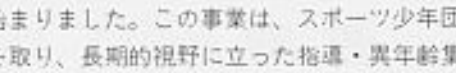
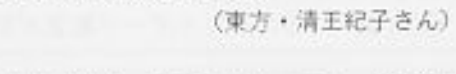
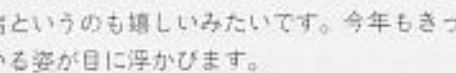
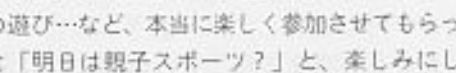
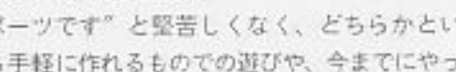
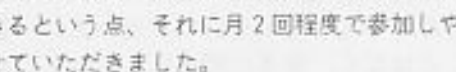
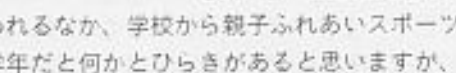
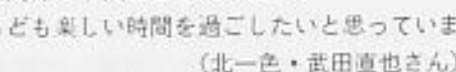
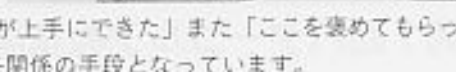
少年団・中学校部活動合同の剣道クラブ・一般少年合同の剣道教室は参加者同士が練習相手になって楽しく汗を流しています。

(剣道少年団指導者・谷口淑彦さん)

クラブに参加して、小学生と一緒にやることでこちらにもいろいろ学ぶことができたし、普段とは違う練習でとてもためになることばかりでした。今後もできるだけ参加し、良い練習をしていきたいです。

(中学校剣道部2年・高橋佑希)

中学生にとってこのクラブへの参加は、多くの社会人コーチの先生方から指導が受けられ稽古をつけていただけることや小学生と一緒にやることで「よき見本」となろうというも以上集中して活動ができることなどメリットがあり歓迎しています。今後も活動日には積極的に参加していこうと考えています。(神戸中学校剣道部顧問・大倉格郎先生)



先進地視察を終えて

去る9月7日(土)、8日(日)と総合型地域スポーツクラブについての先進地である富山県を視察しました。初日は、小杉町で研修及び施設見学をしました。小杉町の人口は神戸市より1万人程多く、富山市や高岡市の両市に挟まれたベッドタウンで、最近では鹿島アントラーズの柳沢敦選手の出生地としても知られています。神戸市では現在、「ごうどスポーツクラブ」が立ち上がろうとしています。小杉町も同じ様な状況で、両町の立ち上げについて活発な意見交換が行なわれました。特に小杉町では、「土曜クラブ」という1つの会場で4～5種類の軽



スポーツを体験できる屋台村形式のメニューを考え、文化団体も取り込み(幼児への本の読み聞かせなど)スポーツの域を越えて、参加者のニーズに特に注意し試行錯誤を繰り返していました。

次の日は、富山県広域スポーツセンターでの研修で、講師は南木恵一氏でした。南木氏の知識もさる事ながら話術と頭の回転、柔軟性に大変感心させられました。新しいことへの飽くなき挑戦といったところでしょうか、大切なことを教えていただいたと思います。今後は、施設などの充実も大切ではありますが、地域のスポーツ人口をますます増やしていくために、常に新しい風を入れ「住民全員参加のクラブ作り」に取り組んでいきたいと思っています。(山川)

第1回バタールゴルフ教室開催

6月30日(日)、総合型地域スポーツクラブ育成モデル事業の一環として「第1回バタールゴルフ教室」が開催されました。第1回ということで、多少人数が少ないかなと思いましたが、5組のパーティーができました。また、梅雨時で天気予報は「雨」でしたが、参加者のみなさんの日頃の行いが良いのか、曇空から心配された雨が降ることはなく、無事に開催することができました。

今回は、町スポレク協会のバタールゴルフ部会のみなさんのご指導のもとに行われました。なかなかカップに入らず、一喜一憂しながら各ホールに挑戦していました。私も参加させていただきましたが、思うようにボールが転がらず、暑いわけでもないのに冷や汗の連続でした。参加者は、6歳から70歳まで幅広い年齢層の方にお集りいただきました。「今は70歳では「高齢者」とはいわないのかな?」と、感じられるほど饗饒(かくしゃく)とされていました。それは、自分の体力にあった軽いスポーツを継続して行っているからだと思います。ぜひ私たちもそうなりたいものです。

今後も、いろいろなスポーツ教室が開催されます。みなさまのご参加をお待ちしております。

(番)



健康一口メモ

身体は、2年ですべて入れ替わっています!

身体は、2年で入れ替わっています。「入れ替わる」ということは、人には自然治癒力があり、病気も一生のものではないということです。

脳は1ヶ月で40%、残りは1年で。

肝臓、腎臓の細胞は2,500億個ほどあり、1ヶ月で90%、残りの10%は300日で入れ替わります。

筋肉は200日で血液は100日で入れ替わり、骨は2年で総入れ替わります。

「食」は「人を良くする」と書きますが、1食1食はだから大切なんですね。

編集後記

『ハイ/ハイ/ハイ/ハイ/』

元気な声であふれているロックソーラン教室//毎回50人を越す参加者の方々と、体育館は熱気と笑い声であふれていました。元気に踊っている子どもたちにつられて、親さんの踊っている姿も増えてきました。

「寒い」と、いってじっとしている方、ロックソーランはいかがですか?一枚薄着になれますよ!

(1)

